

令和7年度 船橋市4年生サッカー大会実施要項

- 1 主催 船橋市サッカー協会 第4種委員会
- 2 目的 サッカーの試合を通じて少年少女の交流・親睦を図る。
また、試合を通じてサッカーの技術の向上、指導者の審判技術、指導技術の向上を図る。
- 3 期日 予選リーグ 12/20・21 予備日：1/11
準決勝トーナメント 1/18 予備日：1/25
決勝トーナメント 1/25 予備日：2/1
- 4 会場 市内小学校他、割り振り年間計画による。
- 5 参加対象児童・チーム数
(1) 船橋市のサッカー協会第4種委員会に個人登録をすませていること
(2) 船橋市サッカー協会第4種委員会に登録したチームに所属し、常時活動している4年生以下の児童
(3) 大会該当学年未満の単独チームの参加は認めない。
(4) 複数チームのエントリー可 複数チームエントリーしたチーム間のメンバー変更は5名まで
※参加60チームを上限とする。60チームを越えて参加チームがあった場合
①登録団体で参加チーム数が多い団体から調整する。
②2チーム以上登録の場合、4年生がより多くメンバー登録しているチームを優先とする。
- 6 表彰 1位から3位まで賞状・トロフィー・メダル授与 優秀選手賞：参加各チーム2名
- 7 大会ルール 別紙
- 8 組み合わせ・大会方法
市内のチームを均等に3ブロックに分けて行う。予選リーグ・準決勝トーナメント・決勝トーナメント
- 9 その他
(1) 会場責任者は、プログラムと選手証で選手を確認し、審判報告書の記入を審判に依頼する。
※各チームは自チームの第1試合開始30分前までに、本部でエントリーチェックを受ける。その際、指導者1名がその場に立ち会うものとする。
(2) 各会場で勝ち上がったチームは、審判報告書等をまとめて次の会場責任者に提出する。
(3) 会場責任者は、会場が禁煙であることを各チーム関係者に徹底する。
(4) 各チームの責任者は選手のマナー、応援のマナー（保護者）について指導しておく。
(5) チームが棄権した場合でも、責任をもって割り当ての審判を行う。
(6) 会場校は、フラッグを立て、フィールドの整備をして対戦表やベンチを用意する。
(7) 会場設営の手伝いは、予選リーグ・準決勝トーナメント・決勝トーナメントを問わず、必要なときに会場責任者が各チームに連絡をする。
(8) 怪我については、チームの責任において対処する。
(9) 各会場責任者は、試合結果を試合当日中に速報システムに入力する。
(10) ベンチに入る指導者は（監督・コーチ）は3名までとする。
(11) 会場校は、割り当てられた会場の日程がおさえられない場合、他のチームに交渉し、結果を競技部長に会議7日前までに連絡する。
(12) 会場責任者は派遣審判員がいる場合、昼食の準備をする。かかった代金は事務局に請求する。（領収証が必要）

船橋市少年サッカー（8人制）競技規則 4年生大会用

1. 参加対象児童 大会要項に明記

2. 試合時間

- ・30分（前半15分—休憩5分—後半15分）とする。
- ・引き分けの場合、決勝戦のみ5分休憩後前半5分—後半5分の延長戦を行う。
それでも決まらない場合は、3人ずつによるPK戦を行う。（以下サドンデス）

3. 順位の決定

- ・順位の決定は勝ち点により行う。（勝ち：3点 引き分け：1点 負け：0点）
- ・同じ勝ち点の場合は、①得失点差②総得点③対戦結果④PK戦により決定する。
- ・トーナメントで引き分けの場合は3人ずつによるPK戦を行う。以下サドンデス。

4. 選手の人数

- ・8人制（キーパー含む）試合成立人数は6人とする。（6人に満たない場合は試合を行わず不戦敗とする。）
※ただし、試合途中で試合成立人数が欠けた場合でも試合を続行する。
(怪我をして復帰できそうであれば試合を止めて、復帰するまで待つ。)
- ・選手の登録人数は自由とし、選手の交替人数及び交替回数に制限はない。
(交代して退いた競技者は交代要員となり、再び試合に出場できる。)

5. ルール

- ・令和5／令和6年の日本サッカー協会競技規則に準ずる。ただし、PKは8m
- ・11人制の競技規則に準ずる。そのため、退場による補充などの8人制ルールは適用しない。
- ・フリーキック、コーナーキックは7m離れる。（会場が狭い場合は6m）
- ・コーナーアークは半径1mとする。
- ・交代は「自由な交代」・・・フィールドプレイヤーは交代ゾーンから、インプレー中の交代が可能

6. 使用球・選手の服装等

- ・4号ボール（合成皮革も可）
- ・スパイクは固定式（裏が金属のものは不可）
- ・すねあての着用
- ・ユニホームは正副2着を用意し、同色の場合は事前に両主将により、主審トスで決定する。（ストッキングも色違いをそろえる。平成24年度からビブスの着用を認めていない。）

7. 不戦勝、不戦敗の場合は以下の通りにする。

不戦勝・・・・勝点3 得点6 不戦負・・・・勝点0 失点6

なお、試合開始時刻に無断で20分以上遅れた場合は、不戦敗とする。

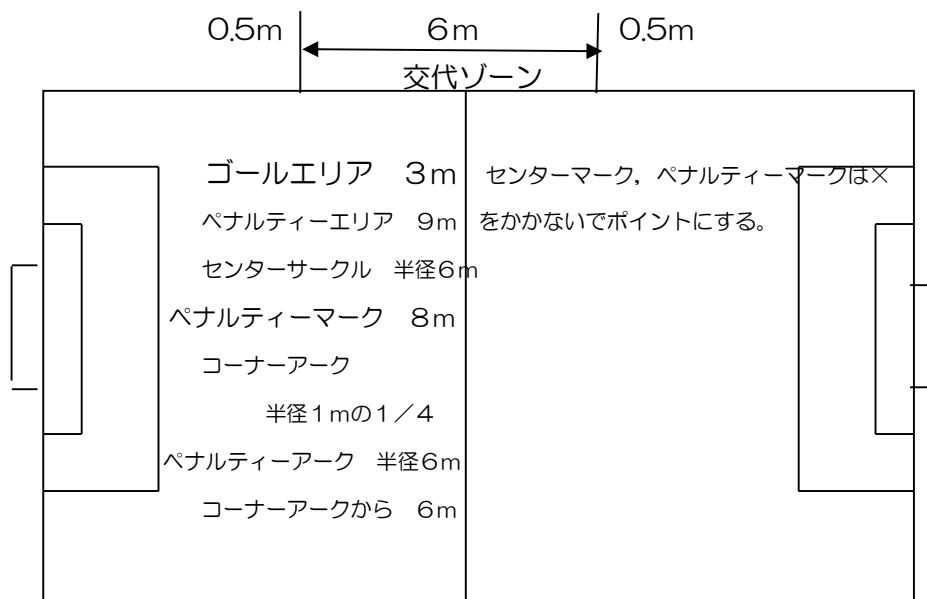
8. その他

- ・各チーム2名以上の審判を帯同すること。なお、審判服は黒を着用のこと。
- ・審判IDを本部に提示する。
- ・選手証のチェックは行い、プログラムで選手の確認を行う。
- ・メンバー表は、試合開始30分前に本部に1部提出する。
- ・選手のメンバー追加・変更の受け付けは、自チームの予選第1試合30分前までとし、それ以後は受け付けない。（大会途中からの変更はできない）
- ・イエローカードやレッドカードの累積はしない。
- ・チーム役員がベンチ退席を審判に命じられた場合、次の1試合ベンチに入り指示できない。

大 会 共 通 留 意 事 項

- 9：00キックオフの大会において、会場には7：45以降に入場すること。
- 会場校は、割り当てられた会場の日程がおさえられない場合、他のチームに交渉し結果を競技部長に会議7日前までに連絡する。
- 荒天により大会実施を見合わせる場合は、AM6：30に判断し、協会のホームページの掲示板で連絡する。
電話で問い合わせる場合は、競技部長に連絡を入れる。
- 各チームの責任者は選手のマナー、応援のマナー（保護者）、指導者の在り方について指導しておく。また、応援に来る方が近隣施設に駐車したりや路上駐車したりすることがないように指導する。
- 会場設営の手伝いについて、会場責任者より連絡があった場合は協力をすること。
- 平成25年度より学校敷地内すべて禁煙となっている。会場校に迷惑にならないようにマナーの徹底を図る。
また、会場周辺の禁煙を心がける。
- 会場に迷惑がかからないよう選手に指導する。（ゴミ・花壇に入らない等）
- 1チーム2名以上の審判を帯同していること（ミニサッカー大会は1名以上の帯同）。審判服は黒を着用のこと。
- 帯同審判は、審判IDを会場責任者に提示して、資格取得者であることの確認をうける。忘れた場合は、その日の試合が終わるまでに取りに帰り、会場責任者に提示する。提示できない場合は、その日の対戦をすべて不戦敗（0-6で負け）扱いとする。ただし、試合結果が（0-6）よりも相手チームに有利になる場合は、試合の結果を採用する。
- 帯同審判は、千葉県で取得した審判IDを提示しなければならない。他県で取得した場合、千葉県サッカー協会に第2登録を行う必要があり、その際に発行される許可証を他県で取得したIDとともに提示しなければならないので必ず行うこと。第2登録を行っていない他県の審判IDのみの提示の場合、帯同審判とみなさず、試合での審判は行えないため、審判ID未提示と同じ処分とする。スマートフォン等の不具合でIDが表示できない場合を含む。
- 各チームは自チームの第1試合開始30分前までに、本部でエントリーチェックを受ける。その際、選手登録証とプログラムでチェックを受ける。また、指導者1名がその場に立ち会うものとする。
- 各チームは、自チームの試合開始前にメンバー表を1部本部に提出する。
- 各ブロックで勝ち上がったチームは、審判報告書等をまとめて次の会場責任者に提出する。
- チームが棄権した場合でも、責任を持って割り当ての審判を行う。
- 怪我については、チームの責任において対処する。ただし、救急車が必要な場合など、会場責任者にその旨を確認し、会場責任者とともにその対処にあたる。救急車を呼ぶような怪我の場合には、会場責任者から競技部長に報告を行う。
- ベンチに入る指導者（監督・コーチ）は3名までとする。ベンチに入る指導者は2名以上が望ましい。
指導者がベンチ退席を審判に命じられた場合、次の1試合ベンチに入り、指示できない。
- ベンチへの各チームによる簡易テントの設営は安全に十分に注意し、設置してもよい。ただし、会場責任者の許可を得て行うこと。
- 雷が鳴ったらすみやかに審判は時計を止め、試合及びアップを中断させる。試合再開については大会役員と相談して決定する。（県からの通達）
- 選手のメンバー追加・変更の受け付けは、自チームの予選第1試合30分前までとし、それ以後は受け付けない。（大会途中からの変更はできない）
- 閉会式はそれぞれの決勝会場で行う。（進行は競技部が行う。）

学校事情により会場が狭い場合の少年用（8人制）フィールドレイアウト



少年用（11人制）フィールドレイアウト

